



大野市消防
総合訓練

主な内容

3月定例会の概要	2~3	ページ
代表質問	4~5	ページ
一般質問	6~10	ページ
3月定例会審議結果	11	ページ
人事案件等	12	ページ
常任委員会審査	13	ページ
各委員会報告	14	ページ

おおの
議会だより

No.172 平成23年4月25日

発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>
編集：議会だより編集委員会

3月定例会市議会の概要

第三七五回定例会市議会は、三月七日から二十五日までの十九日間の会期で開催されました。
 今定例会では、市長から提出された各会計の二十三年度当初予算案、二十二年度補正予算案の予算関係十六議案と条例改正議案など全三十議案のほか、市会案一件について審議しました。
 また議会に「庁舎等建設特別委員会」「中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会」の二つの特別委員会が設置されました。

主な議案

条例

○大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 (議案第二十三号)

(主な内容)

本市の国民健康保険事業の運営は、長引く景気の低迷などによる保険税収入の減少、高齢化の進展や高度医療化による保険給付費の増加などにより、大幅な財源不足となっており、保険給付に係る財源が確保できない状況にあることから、今後の健全な国保財政の運営を図るために保険税率が改正され、平成二十三年度から施行されることになりました。
 改正された主な税率は次のとおりです。(カッコ内は改正前の税率)

① 医療保険分

- 所得割額 五・七割 (五・〇割)
- 資産割額 二・三・〇割 (一・八・〇割)
- 均等割額 二万五千円 (二万九千円)
- 平等割額 二万三千円 (一万九千四百円)

② 後期高齢者支援金分

- 均等割額 七千二百円 (六千円)

③ 介護保険分

- 所得割額 一・五割 (一・〇割)
- 均等割額 九千円 (八千円)
- 平等割額 六千円 (五千四百円)

○大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例
 (議案第二十九号)

(主な内容)

消防団の出場報酬が、一回につき「二千円」から「二千五百円」に改められました。

○大野市健康保養施設設置条例の一部を改正する条例
 (議案第二十五号)

(主な内容)

大野市健康保養施設「あつ宝んど」の休館日が、これまでの第二・第四火曜日から、第二火曜日のみ(夏休み期間中は無休)に改められました。

○大野地域職業訓練センター設置条例の一部を改正する条例
 (議案第二十七号)

(主な内容)

四月一日付けで、市が独立行政法人雇用・能力開発機構から、大野地域職業訓練センターを譲り受けるため、施設の名称を「大野市職業訓練センター」と改めるほか使用料の改正など、施設の取得に伴う所要の改正がなされました。



予算

▼二十二年各会計補正予算
 (議案第十五号～二十一号)

補正の主な内容は、一般会計の歳出では、事業の終了・確定等による精算などのほか、有終南・富田小、開成・陽明中の耐震補強工事による増額、地域振興基金への積み増しなど、また歳入では、市税収入の減額のほか、地方特例交付金・地方交付税の増額などが計上されたものです。
 特別会計では、各事業の確定や給付費の増に伴う増減が主なものですが、国民健康保険事業会計以外は減額されました。
 水道事業会計では、公共下水道事業に伴う配水管移設工事が不要になったことから減額されました。

審議日程

- 7日 本会議 (会期の決定、議案上程・提案理由の説明)
- 8日～13日 休会
- 14日 本会議 (代表・一般質問)
- 15日 本会議 (一般質問)
- 16日 本会議 (一般質問、一部議案討論・採決、各案件委員会付託)
- 17日 常任委員会 (産経建設)
- 18日 常任委員会 (産経建設・民生環境)
- 19日～21日 休会
- 22日 常任委員会 (民生環境・総務文教)
- 23日 常任委員会 (総務文教)
- 24日 休会
- 25日 本会議 (各委員長報告・質疑・討論・採決、追加議案上程・採決、市会案上程・採決、特別委員会の設置・委員の選任)

3月補正のあった会計の補正額と補正後累計額

○一般会計	補正額	6億2,440万円	累計	191億5,978万円
○国民健康保険事業会計	補正額	8,469万円	累計	39億9,528万円
○和泉診療所事業会計	補正額	△115万円	累計	1億747万円
○介護保険事業会計	補正額	△913万円	累計	33億7,579万円
○農業集落排水事業会計	補正額	△100万円	累計	3億8,922万円
○下水道事業会計	補正額	△600万円	累計	11億4,357万円
○水道事業会計	補正額	△511万円	累計	1億6,785万円

(金額に千円以下の端数があるものは、千円以下を四捨五入しています)

▼平成二十三年度各会計当初予算

(議案第六号(十四号))

一般会計では、社会保障関係経費が増大し、厳しい予算編成を強いられる状況において、二十三年度から始まる第五次大野市総合計画前期基本計画を着実に推進するための施策として、保健医療福祉サービス拠点施設整備事業、防災行政無線整備事業、大和町市有地整備事業などの大型建設事業のほか、「市民力」「地域力」を活用する地域づくり、子育て支援と教育の充実、地域医療の推進と健康づくり、商店街の活性化と農業などの産業振興、観光振興、地下水再生を含めた環境保全対策などに力点が置かれました。また雇用情勢改善のための緊急雇用創出事業などが計上され、総額は百七十八億四千六百万円と、過去最大の予算規模となる積極的な予算編成がなされました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計が、高齢化・高度医療化により不足する財源を、国民健康保険税の増加と一般会計からの法定外繰入金により補てんすることとし、対前年度比五・七割の増となっています。後期高齢者医療特別会計は、医療保険料や県広域連合への納付金の減額により、対前年度比一・〇割減となっています。介護保険事業特別会計は、保険給付費の増額等により、対前年度費六・九割の増となっています。農業集落排水事業特別会計では、汚水処理施設整備構想で定めたすべての処理区の施設整備が完了したことにより、対前年度比五・三割の減となっています。下水道事業

特別会計は、整備計画に基づく管渠や処理場施設の整備に伴い、対前年度比五・三割の増となっています。

水道事業会計では、配水管布設・移設工事の増に伴い、対前年度比五・二割の増となっています。

すべての会計の総予算額は、二百七十六億千八百万円となり、対前年度比九・一割の増となっています。

各会計の新年度予算額

会 計	23年度予算額	対前年度
一 般 会 計	178億4,600万円	11.3%増
特 別 会 計	94億9,492万円	4.4%増
水道事業会計	2億6,916万円	52.1%増
合 計	276億1,008万円	9.1%増

※特別会計は、国民健康保険事業、和泉診療所事業、後期高齢者医療、介護保険事業、簡易水道事業、農業集落排水事業、下水道事業の各会計合計額。

※千円以下の金額を四捨五入しています。

▼平成二十三年度の主な新規事業

「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を将来像に掲げた第五次大野市総合計画の構想実現のための柱「人が元気」「産業が元気」「自然が元気」と、基本構想実現に向けた行政運営のための「行財政改革」に沿って、市が二十三年度から新たに始める主な施策を紹介します。

事 業 名	予算額 (千円)	内 容
人が元気		
越前おおの元気創造事業補助	4,000	市民の自主的な事業に対して補助を行い、築城430年祭で高まった市民力、地域力の結集を発展させます。
「市民協働推進事業」の中での新規事業	1,489	地域における多様な課題について、市民から事業提案を募集し、市とNPOなどの公益活動団体の協働の実践につなげるためのモデル事業を実施します。
防災行政無線整備事業	268,451	緊急時に、地域住民へ短時間に一斉に防災情報などを伝えることができるデジタル同報系防災行政無線を、新年度から2カ年をかけて整備します。
越前おおのハッピープライダル応援事業	1,800	市内で結婚式や結婚披露宴を実施した場合に、その経費の一部を、挙式年と3年後の2度に分けて助成します。
産業が元気		
地域農業担い手育成事業	1,229	農業所得の向上に向けた経営の改善を図るため、認定農業者などを対象に、農産物を売り込むための営業等の手法を学ぶ研修会、商談会などを実施します。
農産物加工販売支援事業補助	9,300	農産物の加工に係る施設・機械の整備に対する補助や販売に対する支援を行い、特産作物のブランド化を図ります。
里芋生産拡大支援事業補助	3,000	里芋の生産規模拡大のための機械導入に補助を行い、産地強化を図ります。
越前美濃街道広域観光交流推進協議会負担金	500	岐阜県美濃市・郡上市、福井市、大野市の4市が「越前美濃街道広域観光交流推進協議会」を設立し、県境を越えた連携を図り、地域間交流と広域観光を推進します。
郊外散策観光推進事業	2,251	まちなかと郊外の観光資源を結び付ける観光ルートの開発、宿泊や食事を伴う団体旅行への支援などにより、周遊・滞在型観光を推進します。
「越前おおの定住促進事業補助」の中での新規事業	5,000	40歳以下の市内在住者が行う住宅購入や中古住宅リフォーム、また結婚にあたり、親と同居するための住宅リフォームに係る経費の一部を助成します。
自然が元気		
環境保全型農業支援事業	3,278	化学肥料・化学合成農薬を5割低減させる農家に対し補助します。
水のみえるまちづくり事業	1,400	義景墓所南側湧水地の周辺整備に係る設計を行います。
行政改革		
統合型GIS導入事業	11,500	統合型地理情報システムを導入し、行政運営の効率化・高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。

代表質問



代表質問
(新生おのの会長)
島口 敏榮 議員

※代表質問ができるのは、三人以上の会派です。

り組みは。

答弁 両道路の開通を見据え、中部縦貫自動車道の利用者を市内へ導く「越前おののまるごと道の駅」構想の策定や本市の魅力ある素材を戦略的に売り込む「越前おのの総ブランド化」の推進、結ステーションを核とした中心市街地の活性化などを展開していく。

質問 限界集落の課題の克服のため、行政が積極的にかかわりを持つことが必要と思うが、市の限界集落の現状とこれらの地域に対する対応は。

答弁 市内の十地区が六十五歳以上の高齢者が人口の五〇％以上を占める限界集落に該当する。行政効率だけを考慮して対応するのではなく、公民館単位でのコミュニティを活性化させることや限界集落が抱える個々の課題を地区全体の課題として解決策を探っていくことが重要である。そして地区の合意による具体的な支援策について積極的に対応したい。

質問 集落が消滅した地域では、新たな環境保全対策が必要になり、環境保全NPOを立ち上げたところもあるが、消滅集落に関する所見は。

答弁 地区内で十分な話し合いがなされていけば、山林や農地などの保全をはじめ、環境保全の対策を講じること

は可能と考えるので、今後とも越前おのの地域づくり交付金事業や農業農村活性化支援モデル事業、地域公共交通再生事業などにより、地区内の一層のコミュニティの促進を図っていく。

第五次大野市総合計画前期基本計画(越前おのの元気プラン)の取り組みについて

質問 計画の初年度としての取り組み全体をどのように進めていくのか、また計画全体の進捗よく管理をどのようにしていくのか。

答弁 「元気プラン」に掲げた施策を効率的に進めていくために、市民総参加型、協働型の市政を進める根幹となる市民力・地域力の向上や、第六次行政改革大綱に即した効率的な行財政運営の推進、政策の立案や実行につなげる職員力・組織力の強化に努める。「元気プラン」は、基本施策の達成状況を把握しやすくするため、数値による成果指標を初めて採用した。事業の進捗よくや成果の達成状況について定期的に検証することとしており、この成果指標の達成状況については毎年把握し、市民へ公表する。



庁舎周辺整備について

質問 庁舎周辺整備基本構想の概要と今後の取り組みは。

答弁 庁舎の整備方法を「建て替えによる新庁舎」とし、新庁舎の整備位置については、多田記念大野有終会館や保健医療福祉サービス拠点施設との連携性を考慮し「市民グラウンドでの新庁舎整備」としている。また現庁舎の跡地に市民の憩いの場、災害時の市民の避難場所などとしても活用できる多目的広場を整備することとしている。

新庁舎の施設規模は、総務省「庁舎整備事業の標準面積基準」と、最近庁舎を建設した自治体の事例を参考に七千平方メートル程度と見込んでいます。事業費については、一般的な鉄筋コンクリートづくりと仮定し、多目的広場を除く新庁舎と駐車場などの整備の想定事業費は三十五億円程度と見込んでいます。今後、基本計画の策定や設計を通じて詳細に検討する。

平成二十三年度からは、二カ年の継続事業とし、まず基本計画・基本設計を行い、二十四年度には実施設計に着手し、二十五年と二十六年において新庁舎建設や駐車場整備を行い、二十七年以降に現庁舎の解体と周辺整備に着手する予定である。

質問 何より重要なのが、人口を減らさない不断の努力と、人口を大きく減らしたときの地域経済と自治機能の維持と考えるが、人口減少・少子高齢化に対する所見は。

答弁 安心して子供を生み育てる環境づくりや定住促進、生涯現役社会を目指すため、人口減少に歯止めをかけることが重要と考える。限られた財源の中で必要な行政サービスを維持するとともに、市民力・地域力の発揮や地域での支え合い、そして官民が一体となって取り組むことが重要である。

質問 中部縦貫自動車道の全線開通と国道一五八号の改修を活用して、大野からの魅力を発信するための現在の取

代表質問



代表質問
(新風おのの会長)
永田 正幸 議員

※代表質問ができるのは、三人以上の会派です。

意識調査等を実施しているのか。

答弁 現在、小学校は実施していない。中学校においては、関連の進路調査を実施しており、具体的な職業を掲げる生徒もいる。高校生は、具体的な進学、就職の希望調査を実施しており、大学卒業後も追跡調査を行っている。高卒者の地元就職率は六割を超えているが、大卒者などの地元就職率は二割程度である。地元で大卒者の求める就職先が少ないことや地元企業を知らないことも要因と考え、教育委員会、おくえつ雇用開発協議会等と連携し、子供の頃から地域への愛着心、就職意識の醸成に努める。

職と雇用対策について

質問 昭和四十一年に制定された雇用対策法が、その後の改正で少子高齢化に対応すべき法律とされているが、本市の対応はどうか。

答弁 平成十九年の改正で、少子高齢化対策という雇用政策の基本的方向が明確にされ、同法第五条で地方公共団体の施策が求められており、関連法令に基づき、大野市地域雇用創造計画を定め、諸施策を実施している。そのほか「越前おおの・あったか・こそだて・夢プラン」の中においては「若者が幸せな家庭を築くための環境整備」を掲げ、毎年進ちょく状況を確認している。

質問 「子や孫が、将来大野に住みたい、住んでよかったと思える」とあるが、優秀な人材が少しでも地元で活躍できるような受け皿を整備し、人口の流出を止めるよう努める方法として、子供たちの成長に応じた職業に対する

中部縦貫自動車道の早期完成に向けて

質問 油坂峠道路を福井県の東の玄関口とされて以来、中部縦貫自動車道の具体化により、物流、政治経済、観光、文化、将来は歴史に至るまで影響は大と捉え、中部圏と関東圏を視野に考えるべきではないか。

答弁 中部縦貫自動車道は、中京圏、関東圏とのネットワーク化による地域振興をはじめ、まさに「生命の道」「生活の道」「希望の道」として大野市民の悲願である。新年度は、首都圏を対象

に「越前おおの暮らし体験ツアー」や中京圏に向けての事業を推進する。また岐阜県美濃市と郡上市そして福井市と大野市で構成する越前美濃街道広域観光交流推進協議会を設立し、連携を図る。

質問 著しい経済発展による中国資本が、期待と注目を帯びている中で、中国富裕層を対象とした観光や米などの農産品の販路開拓に着手し、中国に活路を求めてはどうか。

答弁 多くの国々との交流があり、特に中国は、大野市日本中国友好協会の創立三十周年記念行事を計画しており、今までもスポーツや民間の相互訪問、研修生の受け入れなどを行ってきた。政府による中国人向けの観光ビザ解禁により、今後観光客の増加が見込まれる。こうした外国人観光客に本市の魅力をもっとPRし、誘致する手法を企画することも重要と考える。

大野産米の海外輸出については、平成二十一年に中国向け市場調査を実施したが、流通経費や薰蒸倉庫など課題が多く採算が合わず断念した。今後は、内外の情勢により、対応を検討する。



市庁舎の建設について

質問 去る二月二十二日の新聞報道で「市庁舎周辺整備基本構想策定委員会が日程案を了承と財源負担の軽減に努めることを確認」とあったが、本定例会で市長は「行政改革」の中での説明のみに留まった。大野市の全ての拠点となる施設でありシンボルである。どのように進めるのか。

答弁 築四十九年を迎え、これまで老朽化や利便性のため改修、修繕を凶ってきた。耐震構造化や構造体の局所劣化などが指摘されており、平成十三年第四次大野市総合計画で将来の施策と掲げ、平成十七年の和泉村との合併に伴う、大野市・和泉村新しいまちづくり計画でも市庁舎建設を主要施策として、財源も見込んできた。平成二十二年度の七月補正で基本構想策定の経費を計上し、十一月に大野市庁舎等周辺整備基本構想策定委員会を構築した。新年度は、新たな策定委員会を立ち上げ基本計画と基本設計を行い、併せて周辺の整備計画策定に着手する。平成二十五年と二十六年に新庁舎建設と駐車場整備、平成二十七年以降に現庁舎の解体や周辺整備に着手する。

一般質問

今回は九議員が、提出された議案や市政全般について質問を行いました。

3月15日 (火)		3月14日 (月)		日程
議員 正夫 (日本共産党・大野市議団)	議員 梅林厚子 (新風おおの)	議員 松原啓治 (新生おおの)	議員 松田元栄 (新風おおの)	質問者
①「市庁舎建て替え問題」について ②地域経済の担い手に対する支援について	①大野市の教育について ②年々枯渇する大野の地下水対策について ③大野市の将来的な財政について	①大野市の基金について ②成年後見制度について ③大野市の森林に対する基本的な考えについて	①第五次大野市総合計画での確認について ②地域が元気になることについて ③有機農業の推進について	質問事項
8頁	8頁	7頁	7頁	頁
3月16日 (水)		3月15日 (火)		日程
議員 高岡和行 (無会派)	議員 兼井大 (無会派)	議員 浦井智治 (日本共産党・大野市議団)	議員 石塚淳子 (新風おおの)	質問者
①第五次大野市総合計画について ②雇用拡大について ③流量拡大について ④新庁舎建設について	①大野市が活性化する仕組みづくりについて	①国保税の引き上げを中止せよ ②雪対策の前進で安全・安心なまちづくりを	①人口減少対策について ②少子化対策について ③雪に強いまちづくりについて ④地上デジタル放送への対応について	質問事項
10頁	10頁	9頁	9頁	頁

※ この表の質問事項には、議員が本会議で行ったすべての質問項目を質問通告書を基に掲載しています。
なお、下段以降の各議員の質問・答弁の内容は、必ずしもすべての質問事項について掲載しているものではありません。

第五次大野市総合計画について



一般質問
宮澤 秀樹 議員
(新生おおの)

質問 毎年行われている克雪市民会議はどのような会議か。また今冬の被害状況はどうか。

答弁 県や市が行う除排雪計画を中心に屋根雪下ろし対策を定め、住民に対しては除排雪作業への協力、適切な流雪溝の利用を要請する会議である。
人的被害は、死亡三人を含め二十三人、住宅の破損八十五件、空き家等の倒壊六十四件等。

質問 自転車を活用したまちづくりには、高齢者や買い物弱者の足など、福祉の面でも調査研究すべきであるが、考え方を聞きたい。

答弁 車では感じ取れない景色や魅力の発見や、健康効果、子供の自立心などの教育等、多方面に波及効果をもたらすものであり、大野にふさわしいソフット・ハード両面の方策を盛り込んだ具体的な自転車を活用したまちづくり計画を新年度に策定する予定である。

北陸新幹線問題について

質問 これまで本市は、国・県・沿線地域の問題として論議は皆無状態であったが、経済効果等を考えると大問題である。市長の考え方を聞きたい。

答弁 福井駅を中心とする福井圏域に奥越が含まれ、流入人口は現状百八十五万人から二百二十万人と三十五万人の増加が見込まれており、本市への一定の経済効果は期待できると考えている。また整備に係る地元負担金は本市においてはなく、越美北線は経営分離の対象外とすることを確認している。

農業関係について

質問 有害鳥獣の被害状況と食肉の流通等についての考え方。また対策について聞きたい。

答弁 平成二十二年度の捕獲数は、カラス三百四十三羽、イノシシ百六頭、ニホンジカ四十五頭、ハクビシン二十頭で、被害総額は千三百六十万円で、昨年の二倍以上となっている。

獣肉利用については、職員が滋賀県に視察しており、将来的な検討課題として、今後の捕獲状況を踏まえ、県内における食肉加工施設などの状況も把握する。対策においては、山際の草刈りを実施し、幅広い緩衝帯を設けることにより、有害鳥獣の出没しにくい環境の整備に努める。



一般質問
松田 元栄 議員
(新風おおの)

第五次大野市総合計画での確認について

質問 人・産業・環境が連携した横串プロジェクトで市民に解り易いブランド作りを進めてはどうか。

答弁 行政にありがちな縦割りにならないよう、各部署間の横連携を図り、事業を客観的に判断するために(仮称)総合政策会議を設置したい。

地域が元気になる工夫について

質問 地域の元氣創造の取り組みは。

答弁 地域の課題は自らが解決し、地域固有の資源を磨き地域の活性化を支援することは大変重要であり、地域づくり交付金事業や農業農村活性化支援モデル事業を活用してほしい。また乾側地区の「ほたるの里」のように、児童たちと地域の方々が一緒に取り組み、人と人との触れ合いや地域間の絆を深められるように、教育委員会と学校が力を合わせて取り組む。

質問 広葉樹の植林によるCO2吸収効果による排出枠の売買および外国人

の森林買収についての所見は。

答弁 CO2の排出権取引は、新たな付加価値と収入源となり、経営が厳しい林業の活性化が期待できる。また外国人の富裕層による森林買収については、県の検討協議会と共に、大野市も調査・研究している。

有機農業の推進について

質問 有機志向農業の推進については

答弁 平成十九年三月に「越前おおの型 食・農業・農村ビジョン」を策定し、有機農業など環境調和型農業の推進に積極的に取り組んだが、販路開拓や除草対策など新たな課題が生じた。

質問 ブランドづくりの観点での有機農業の展開についてはどうか。

答弁 今年度からの環境保全型農業支援事業は、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者を支援し、農林薬舎の認証制度やJAなどと連携し、環境調和型農業を推進していく。

質問 建設等産業の新しい道について

答弁 生活排水路などの改修に当たっては、安易に三面張り水路にせず、石積み水路や底打ちなしコンクリート水路、魚道を設けるなど、多様な生物の生息が可能な水辺の環境づくりを実施する。また新しい木材活用関連産業の道は、強度、耐用年数、コストの面で課題がある。



一般質問
松原 啓治 議員
(新生おおの)

成年後見制度について

質問 大野市は高齢者率が高い土地柄であるが、この制度をうまく取り入れることができないか。

答弁 任意後見制度については、本人が判断能力のあるうちに、あらかじめ自らを選んだ代理人と後見事務の契約を結んでおき、判断能力が低下したときに保護・支援を受けることが可能になるものである。

次に、成年後見人の養成についてはあるが、成年後見人となる人は、本人の親族や法律、福祉の専門家、現在本市においては、ほとんどのケースで親族が成年後見人となっている。

今後、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加し、高齢者が不動産管理、遺産分割、施設入所などの複雑な手続きができなくなることや悪徳商法などの被害に遭うような事例が増えていくことが予想されることから、この制度は、高齢者の生活を支えるために非常に重要であると認識しており、今後、適切に対応したいと考えている。

大野市の森林について

質問 大野市の森林を今後どのように整備していくのか。

答弁 平成二十三年度中に、本市の実情に応じた二十四年度からの新たな森林整備計画を策定する。

質問 市内の森林の所有者に外国人はいないのか。今後、外国人が所有できないような方法はないか。

答弁 現在のところ外国人の所有者はいない。

また所有者が変わるとき、事前に把握できる体制や方法などの検討が必要との考えから、昨年十月に福井県が中心となり、県内の全市町および森林組合連合会からなる「外国資本等による森林買収に関する連絡協議会」を立ち上げ、協議を重ねている。

本市としても、できる方法がないか検討するため、先般、水資源の現状や水資源を保全するための情報収集および方策などの提案を目的に、水資源の保全方策検討ワーキンググループを設置し、調査研究を始める。





一般質問
梅林 厚子 議員
(新風おおの)

大野市の教育について

質問 就学前の教育と保育の在り方についてどのようにお考えか。

答弁 公立幼稚園では小学校との交流学习や他園との合同保育などを取り入れながら、豊かな体験活動の機会を保障し、社会性を育む努力をしている。私立幼稚園へは振興補助金の交付を通して支援を行っている。公立保育園では「一人一人の子どもを人として尊重し、さまざまな生活体験を通して豊かな心と生きる力を育む」を基本理念としている。民間保育園ではそれぞれの園の特色に応じた基本理念および保育方針を設け、保育に当たっている。

質問 私立幼稚園は厳しい現状にあるが、存続に向けての取り組みは。

答弁 市としての私立幼稚園教育振興補助金の確保に努力する。

質問 不登校、発達障害に該当する子供の現状と家庭支援は。

答弁 それぞれの児童生徒に対応する支援員、相談員などを配置し支援に当たっている。家庭には専門機関との連

携を密にしアドバイスを行っている。
質問 発達障害の検査にかかる費用の補助の考えはないのか。

答弁 子供達の幸せを願うことを最優先に思っているが、補助に関しては検討させてほしい。

質問 教職員のメンタルヘルスは。

答弁 管理職を中心に、会議や行事の見直しや校務分掌の調整、相談のできる職場環境づくりなどに努めている。今後も心の健康保持に努めていく。

年々枯渇する大野市の地下水対策について

質問 地下水低下は著しく、根本的対策がなされていないのではないか。

答弁 地下水表示板の設置、水田湛水の拡大、湧水再生の調査研究などを行っている。大野市湧水文化再生検討委員会を立ち上げ、地下水位を上昇させる実効性のある計画策定を進めている。

質問 上下水道の財政の見直しは。

答弁 上下水道事業は、一般会計からの繰入金縮小を図っており、運営状況については問題なく推移している。下水道事業は、加入率が伸びないと運営に支障を来すため、引き続き地元説明会等を開催し、下水道事業への理解と加入を求めていく。



一般質問
榮 正夫 議員
(日本共産党・大野市議団)

「市庁舎建て替え問題」について

質問 市庁舎建て替え問題が動き出したのは昨年の十二月議会からであり、今議会の提案理由説明で市長は「大野市庁舎等周辺整備基本構想策定委員会」を昨年十一月に立ち上げて基本構想案をまとめている。この構想案については、議員各位の意見を十分聞いて年度内に策定したいとのことだが、十分な時間とはどれくらいか。また新庁舎を建設する根拠もないのに強行するのか。

答弁 市庁舎の建て替えは、平成十三年三月の第四次大野市総合計画で「本庁舎は老朽化が進んでおり、改築を検討すべき時期に来ている。計画的に建設資金を基金積み立てするとともに、市民サービスの拠点、また地域情報化の拠点としての必要機能やスペース、配置などについて検討を行い、将来の改築に備える」としている。今後のスケジュールとして、平成二十三年度で新庁舎の基本計画と基本設計を、翌二十四年度で実施設計を進め、有利な合併特例債の活用を考慮して、平成二十

五年度と二十六年度の二カ年で工事を進めたいと考えている。基本構想案の審議については、今総務文教常任委員会で説明し、三月いっぱいだと考えているが、場合によってはさらに審議する時間があってもやぶさかではない。

地域経済の担い手に対する支援について

質問 地域経済の深刻さは、大野市の統計調査のホームページでも明らかだが、自治体の取り組みとしての住宅リフォーム助成制度と小規模工事登録制度について聞きたい。

答弁 住宅リフォーム助成制度の充実として、越前おおのの定住促進事業を、今までは、転入者の新築住宅または中古住宅の取得に対して助成していたものに、中古住宅のリフォームについても、市内事業者の施工を条件に助成対象にし、また市内在住の四十歳以下の方々にも助成対象を広げたい。

小規模工事登録制度は、地域の活性化を目的としているが、本市では、同様の趣旨で、市内の小さな事業者だけで資格者名簿を作成し発注する小規模修繕名簿登録制度によって、小規模事業者の育成を図りたい。





一般質問
石塚 淳子 議員
(新風おのの)

人口減少対策について

質問 国勢調査の速報値が二月に発表され、本市は県内九市の中で一番人口減少率が高いが、この結果をどのようにとらえているのか。

答弁 大野市にとって大変厳しい状況にあるととらえており、地域経済の低迷や集落機能の低下などさまざまな影響が危惧される。そのため、第五次大野市総合計画においては、これらの問題を直視し、人口減少に歯止めをかけるための施策やふれあい交流人口を増加させ活気あるまちを創出するためのさまざまな施策を推進していく。

質問 新年度予算案の中で確実な人口減少対策と考える施策は何か。

答弁 若者の働く場を創出するための企業誘致の推進、地元企業への支援やふるさと雇用再生特別基金事業の活用を積極的に進める。また大野での住みやすさを向上させるために、下水道の整備や冬季間の除雪体制の充実、さらには国道一五八号の整備促進なども人口減少対策になる。

少子化対策について

質問 他市より保育料が高いが、保育料の見直しの考えはないのか。

答弁 平成二十二年度の税制改正により子育て世帯の所得税額が増額になるので、平成二十四年度の保育料の算出基礎額にも大きく影響することが予想される。二十三年度において保育所保育料の見直しを予定しており、国の保育料徴収基準額を基本にして、保護者の家計への負担に対する配慮や市の財政状況を踏まえ、保育料の徴収基準について調査および審議する「大野市保育所保育料徴収基準審議会」に諮り、十分協議したうえで判断していく。

雪に強いまちづくりについて

質問 今年の豪雪における問題点と今後の対策について聞きたい。

答弁 路面の圧雪や流雪溝から水が溢れ道路が冠水するなど、道路利用者などに支障を及ぼす問題が発生した。除雪の業務が遅れた路線については、担当業者の保有機械の能力などを含めた聞き取り調査を行い、除雪路線の見直しや新規除雪業者の確保などの改善策をとる。道路冠水が発生した箇所については、その原因などを調査して解消する方法を検討する。

国保税の引き上げを中止せよ



一般質問
浦井 智治 議員
(日本共産党・大野市議団)

質問 四十歳代の夫婦と子供二人の四人世帯で、給与所得二百万円の場合、現在保険税は、二十七万七千五百円だが、今回の引き上げで三十三万二千三百円と五万四千八百円もの引き上げになる。来年度初めて、一般会計から国保会計へ一億四千四百万円を繰り出して、保険税の引き上げ額を抑えたことは評価するが、給与所得の十六・六割にもなる保険税の負担は重すぎると考えないか。

答弁 本市の国民健康保険財政は、多くの高齢者や低所得者が加入していることから、財政基盤が弱く、それに加えて景気の低迷で保険税収入が減少している。新年度の収入見込みでは二億五千万円の財源不足が生じるので、一部は一般会計から繰り入れを行うが、保険税率の改正も実施して国保財政の健全化を図りたい。

質問 医者にかかりたいのに医療費の支払いが困難な場合は「特別な事情に準ずる」として保険証を発行するよう

国は決定している。市はこのことを市民に周知し、受診遅れがないようにすべきかどうか。

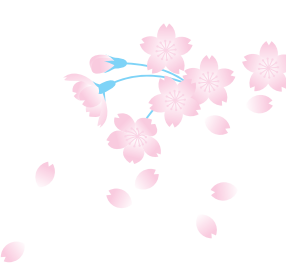
答弁 世帯員が病気の都合や事業の倒産、休廃業などにより、医療費の支払いが困難となる生活困窮世帯については、特別な事情があると認めて保険証を交付している。

また納税相談などの機会を利用して周知を行っている。

雪対策の前進で安全・安心なまちづくりを

質問 流雪溝の水量が少なく改善を求める声が多い。流雪溝の水量確保のため対策をとるべきではないか。

答弁 市街地の流雪溝の水源は主に農業用水の落ち水を市街地に通水している。現在、冬季間の市街地上流からの流入量は、毎秒三リットル余りであるが、本年四月から真名川頭首工より新たに毎秒〇・一リットル取水する許可を受けたことから、冬季間は流雪用水として有効に活用したい。





一般質問
兼井 大 議員
(無会派)

大野市が活性化する仕組みづくりについて

質問 平成三十二年度には交流人口年間二百万人を目標にするところがあるが、交流人口はどこで計測しているのか。

答弁 入り込み客数の計測地点は、まちなか観光、越前大野城などの四つの文化施設、六呂師高原、九頭竜湖など二十六点と、新緑まつりおよび紅葉まつりの二つのイベントとしており、平成二十二年の入り込み客数を約百八十三万人と算出している。このうち、まちなか観光の入り込み客数は、亀山、七間朝市、寺町、本願清水イトヨの里、市内旅館など十地点で計測し、まちなかで開催される各種イベントの入り込み客数を合計し、平成二十二年は約七十五万人を算出している。

質問 郊外散策観光推進事業、観光セーリング事業、越前おおの観光戦略プラン、越前おおの定住促進事業補助、越前おおのブランドセールス事業や民間企業・団体の活動等を通して、初めて大野市を知った方や来訪者はもちろん、

大野市の商品やサービスを一度でも購入・利用した方の情報を収集、管理分析し、これらの方々が、物・サービスを必要とするときに、効果的・効率的に案内する仕組みの構築が必要と思うかがか。

答弁 これまでは、市内で実施されるイベントを市のホームページなどで情報発信する一方、平成大野屋では、結集座や出向宣伝において大野産品を購入された方、市内外の約二千人の顧客情報を管理し、インターネットや四季を通じてダイレクトメールで大野産品の販売を促進している。

こうした情報発信とともに、新年度には中京圏の旅行会社に対し、まちなかや郊外の観光スポット、市内で提供できる宿泊や昼食など、大野の魅力を紹介する商談会を開催して、情報を提供することとしている。さらに旅行会社が市内での宿泊や食事を伴う団体の企画旅行を実施した場合に、費用の一部を助成する制度を創設することとしており、本定例会に提案している。

今後はこれらの取り組みに加え、大野産品の販売拡大の仕組みとして、カタログなどの販売方法にも取り組めないか、研究をすることとしている。



一般質問
高岡 和行 議員
(無会派)

第五次大野市総合計画について

質問 第五次大野市総合計画に対する市長の総評ならびに意気込みはどうか。

答弁 自治体が生き残りをかけて切磋琢磨している現実を認識し、これらを直視した上で、実現可能な計画とすることを念頭に策定に当たった。構想の実現に向け「越前おおの元気プラン」を着実に推進するためには、市民力・地域力を発揮した市民総参加型の市政の推進が最も重要であると考えている。

また市民総参加型の市政を推進するに当たっては、職員の強化が重要であり、大野市人材育成基本方針に沿って、職員の意識改革や資質の向上に努めたいと考える。

雇用拡大について

質問 雇用拡大に関する予算は。事業は盛り込まれているのか。

答弁 直接雇用につながる事業には、緊急雇用創出事業がある。就職活動を支援する事業は、職業訓練センター講座開設事業があり、IT関連講座など

五十一の講座を計画している。雇用情勢の改善には、地域の活性化が不可欠であり、これら市の事業と合わせ「越前おおの魅力あふれる活力あるまち」の各施策に基づき、雇用機会の創出に向けて取り組む。

流量拡大について

質問 水利権確保はどうか。

答弁 水利権に関して、各団体、県に水利使用の許可申請を行い、昨年十二月二十四日に水利使用の許可をいただいた。

新庁舎建設について

質問 現在進行中の新庁舎建設における基本コンセプトはいかがなものか。

答弁 基本理念については「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を踏まえ、ニーズに的確に 대응するため「市民が気軽に集い、憩い、学ぶ」「まちづくりが活発化する」「市民の安全・安心な暮らしを支える」「人と環境にやさしい」を挙げている。

質問 民間企業等が冷え込んでいるが、新庁舎新築に関して、市民に説明不足はないか。

答弁 説明不足という指摘は否めないが、今後は十分に市民の皆さんにお伝えしていく中で、理解を得ていくようにしたいと考えている。

平成23年3月第375回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

議案番号・議案名等		議決結果	議員名（議席番号順）																			
			山崎利昭	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	前田政美	石塚淳子	宮澤秀樹	川端義秀	松原啓治	藤堂勝義	高岡和行	兼井大	島口敏榮	浦井智治	本田章	畑中章男	砂子三郎	榮正夫		
市 長 提 出 議 案	6	平成23年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	×
	7	平成23年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	×	
	8	平成23年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○		
	9	平成23年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	10	平成23年度大野市介護保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	11	平成23年度大野市簡易水道事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	12	平成23年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	13	平成23年度大野市下水道事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	14	平成23年度大野市水道事業会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	15	平成22年度大野市一般会計補正予算（第6号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	16	平成22年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	17	平成22年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	18	平成22年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	19	平成22年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	20	平成22年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第5号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	21	平成22年度大野市水道事業会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	22	大野市和泉情報通信施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	×		
	23	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	×		
	24	大野市立集会所設置条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	25	大野市健康保養施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	26	大野市男女共同参画推進条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	27	大野地域職業訓練センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	28	大野市麻那姫湖青少年旅行村設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	29	大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	30	大野市産業文化展示館設置条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	31	大野市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	32	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	33	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	34	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○			
	35	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			
	市 会 案	1	原子力発電所災害に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○			

（議決結果に賛成○、反対×。欠席、除斥等による不参加-。議長（本田 章氏）は採決に加わらないので「/」で表示）

三月定例市議会での討論

「平成二十三年度大野市一般会計
予算」(議案第六号)

反対討論 (榮 正夫 議員)

新庁舎建設先にあきき
説明になっている

大野市庁舎等周辺整備基本構想(素案)の概要説明では、まず現庁舎を含む庁舎等周辺の現状および整備の必要性と意義について、市庁舎を整備するには当然必要不可欠な七項目の説明であるにもかかわらず、新庁舎建設が先にあききの説明になっている。その他のどの項目も市役所機能として必要なものであり、新庁舎建設を裏付けるものではない。

賛成討論 (島口 敏榮 議員)

災害に強い庁舎を一日も早く
整備する必要がある

今回発生した東北地方太平洋沖地震で被災した多くの自治体の惨事をテレビ等で目の当たりにし、本市においても、大災害に際しても、災害対策本部をはじめとする行政機能を維持できる災害に強い庁舎を一日も早く整備する必要がありますと感じた。

人事案件

● 監査委員(議会選出)の選任に同意
(議案第三十四号)

市の監査委員に、松原啓治議員(土打・新任)を選任することに同意しました。

● 人権擁護委員候補者の推薦に同意
(議案第三十五号)

人権擁護委員候補者に、中井孝夫氏(橋爪・再任)を推薦することに同意しました。

議会人事

● 「庁舎等建設特別委員会」の設置と委員の選任

現在計画中の新市庁舎等について、市民が集いやすく利用しやすい、そして災害に強い施設整備となるように、また保健医療福祉サービス拠点施設など周辺施設との効率的・効果的な運営が図られるよう、具体的な方策を調査・研究し、的確に提言するための委員会を設置されました。

◎川端義秀 ○前田政美
梅林厚子 松田元栄
藤堂勝義 畑中章男
砂子三郎 榮 正夫

(◎委員長、○副委員長)

● 「中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会」の設置と委員の選任

中部縦貫自動車道の永平寺大野道路の平成二十八年度までの全線開通、大野油坂道路の残る十八キロメートル間の早期事業化、そして国道一五八号の境寺・計石間の早期事業化と着実な事業の推進を図るため委員会が設置されました。

◎島口敏榮 ○永田正幸
山崎利昭 石塚淳子
宮澤秀樹 高岡和行
兼井 大 浦井智治

(◎委員長、○副委員長)

意見書

定例会最終日に、議員から一件の意見書が市会案として提出され、可決されました。意見書の概要は次のとおりです。

▼「原子力発電所災害に関する意見書」
(市会案第一号)

今回の東北地方太平洋沖地震に伴い発生した原子力発電所の原子力災害に對して、事態の早期収束と再発防止策の構築、情報公開の徹底および農業関係者に対する適正な補償等に取り組み、一日も早く国民の安心と安全を取り戻すこと、また事故の原因究明を徹底的に行うとともに、全国の原子力発電施設

設に對して、管理運営基準、防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲の見直し等、抜本的な安全管理対策を迅速に実施することを政府関係機関等へ要請するものです。

また併せて、今回の原子力災害の発生により、被害が原子力発電所立地市町村や隣接市町村にとどまらず、周辺市町村にも及ぶことが明らかになったことから、これら周辺市町村の安全対策と活性化にも配慮するよう要請するものです。

請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名(押印必要)
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)

※詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

(66-1111内線253)

常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



産経建設

Q 市営住宅への入居希望者が多いようだが、戸数も限られるため、実際にはなかなか入居できない。どのように考えるか。

A 新たな市営住宅を建てることは財政的に困難と思われる。現在、民間の賃貸住宅に空きがあるようなので、そこへの入居促進策についても今後検討したい。

Q TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が締結されれば、小規模農家の存続は難しくなる。今後の市の農業施策をどのように考えているのか。

A 農業所得を向上させるような政策を展開したい。また農地や農業用施設を保全している農業集落が活性化するような施策についても併せて実施していきたい。

Q 越前おおのエコ・フィールド（上掲）で作ったドングリの苗は、どこに植えているのか。

A 二十二年度は約二千本のドングリの苗ができた。そのうち千本は、陽明中学校の生徒が行っている「陽明の森づくり」（南六呂師）で活用された。残りは、緑化推進委員会の行う緑化活動等に活用された。

Q 二十三年度の有害鳥獣対策として実施する山際の緩衝帯づくりとは、どのようなものか。

A 有害鳥獣の出没件数が多い集落を中心に山際の草刈りを実施する。幅二十〜三十メートルの緩衝帯をトータル約三十キロメートルにわたってつくることで、農作物被害を減少させる試みである。

民生環境

Q シュレッダーごみの収集は。

A 本年四月から事業所から出されるものを対象に実施。各事業所へは通知を出してお知らせするとともに、市報にも掲載し、協力を呼び掛けているところである。

Q 「さわやかサイクリング教室」の開催について聞きたい。

A 市保健センターを発着点とするサイクリングマップの小山・上庄コースを活用して、小学四年生以上を対象に実施する。開催は五月一日（日）を予定している。乗り方の指導も行う

予定である。

Q 高齢者、障害者の見守り体制の整備について聞きたい。

A 本市の高齢化率は高く、高齢者のみの世帯やひとり暮らし高齢者世帯も増加傾向にあるため、地域での見守り体制を整備し、住み慣れた自宅や地域で自立した生活を送ることができるよう、生活・介護支援サポートを養成する「地域支え合い活動支援事業」を実施し、地域での見守り体制の整備に取り組み予定である。

総務文教

Q 常備消防費、非常備消防費の支出対象と消防自動車の車検時の対応は。

A 大まかに区分して、常備消防費は消防署に係る経費で、非常備消防費は消防団に係る経費である。

Q 消防自動車の車検時の対応としては消防署には常に予備車を一台準備してあり、各消防団の消防自動車の車検時には、隣接する分団等でカバーする体制を整えている。

Q 文化公演事業は、同じことを繰り返さないように工夫しているのか。

A 毎年、文化公演事業の申請団体は十団体程度あり、うち五団体は新規である。各団体が自立できるよ

うに指導・助言しているが、市が開催してほしい事業については、内容を審査して実施してもらおう場合がある。

Q 防災行政無線で発信する行政情報とは何か。

A 例えば、火災やクマ出没などの危険情報、悪質な詐欺、各地区のイベント情報等である。具体的な情報や発信する対象地区等については、今後、整備する中で検討したい。

●市議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。

●会議録の公開

定例会の会議録は、大野市ホームページで公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

(0779-66-1111 内線253)

委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長は報告は次のとおりです。

●産経建設常任委員会

○大和町市有地の整備について
跡地には駐車場や休憩スペースのほか、県から譲渡される「お野立所」を活用した展示スペースが設けられ、昨年の中学生みこしの写真パネルや、その時の四基のみこしなどを展示する予定とのことだが、せっかくいただく貴重な施設を有効に活用できるように、他の展示物や展示方法についても、よく吟味されたい。

○学生合宿誘致事業について
本事業により、本市を訪れる学生が増えたが、学生がホテルでの宿泊を望むため、市内の旅館等への宿泊が少ないとのこと。市内旅館等に、より多く宿泊してもらおう方策について検討願いたい。

○まちなかの水路について
冬季間の投雪によって、水路

●民生環境常任委員会

の水がついたり、全く水が流れてこなかったりと、市民生活に支障を来している。これまでは市民のマナーに頼るところも少なくなかったが、今後は水路の機能的な改良も必要ではないか。

○国民健康保険事業について

健康増進事業による生活習慣病の発症や重症化の予防に努めるとともに、ジェネリック医薬品の利用促進を行い、医療費の抑制についても取り組まされたい。併せて、国民健康保険税の納付の回数を増やすなど、被保険者が納めやすい環境整備に努められたい。

○結婚支援について

市内で結婚式および結婚披露宴を行った場合に、その費用に対し助成をし、結婚を支援する「越前おおのハッピーブライダル応援事業」が二十三年度の一般会計予算に計上されている。



●総務文教常任委員会

市内での結婚式や結婚披露宴のモデルプランを作成し、周知を図るなど、具体的なイメージづくりについて積極的に働き掛けられたい。

○防災対策について

本市でも「大野市地域防災計画」を策定しているが、今回の大震災を教訓に、想定を厳しく改める必要がないか再度検討願いたい。また先般、市内で火災によりお亡くなりになった方がいる。冬期間でも緊急時に備えて避難路を確保しておくことや、全戸に住宅用火災警報器を早急に設置することを周知徹底されたい。

○市民の安心・安全について

市が空き家・空き工場等を管理したり、高齢者宅の屋根雪を下ろしたりすることは、現行の法制度で不可能であることは理

○各種イベントについて

イベントでの成果を市報やホームページ等で市民に公開し、市民から寄せられた意見を次回に反映するなどの仕組みづくりが必要ではないか。

議 会 日 誌

◆2月

4日 福井県市議会議長会定期総会（あわら市）
17日 全国高速自動車道市議会協議会理事会・定期総会（東京都）

18日 新議員全員協議会
22日 第374回臨時市議会
28日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会

◆3月

1日 議員全員協議会
7日～25日 第375回定例市議会
28日～30日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会（勝山市）
29日 後期高齢者医療広域連合議会（福井市）
29日 三重県亀山市行政視察来訪

◆4月

7日 北信越市議会議長会定期総会（長野市）
25日 議会運営委員会、議員全員協議会

編集後記

先月日本を襲った地震、津波。あらためて自然の力の恐怖を感じることも、日本だけでなく世界の人類が一つになるチャンスを与えているのかも分かりません。

本市においても、山積する課題に向け、まさに市民力・地域力が結集されなければならぬ今日です。本議会での質問を読んでいただくとお分かりのように、議会も一丸となり、市民の安全・安心な暮らしやすいまちづくりのため努力します。

今後とも、何とぞご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。（座長 宮澤 秀樹）



議会だより編集委員会

委員 宮澤 秀樹
石塚 淳子
兼井 大
浦井 智治

※ 次回は、七月二十五日の発行を予定しています。